

注意報第1号発表！「斑点米カメムシ類発生多い！」 地域ぐるみで防除対策の徹底を！



アカスジカスミカメ

メヒシバ等のイネ科雑草で大繁殖中！
草刈りまだのところは直ちに草刈り！

○現在実施中の畦畔・農道におけるすくい取り調査では、7割以上の地点で斑点米カメムシ類の発生が確認されています。「多いところでは100頭以上確認！！」草刈りを実施していないところは、直ちに草刈り！

被害を防ぐには「広域で！一斉に！」防除を行うことが重要！

・ 2回の基本防除（穂揃期と穂揃期7～10日後）を徹底する

・ 畦畔・農道等、水田周辺の草刈りを、やむを得ず行う場合は、防除直前に実施する

○いもち病も要注意！

- ・ 葉いもちの発生が各地でみられています。
- ・ 穂いもちの発生が懸念されます。

発生を確認した場合 → 直ちに治療効果のある薬剤で防除！



穂いもち

◎7月20日現在の生育状況

草丈は平年（雪若丸は指標）に比べ平年並み～長く、茎数ははえぬきが平年並み、つや姫が多く、雪若丸がやや少ない状況です。また、葉数は平年並～やや多く、葉色は平年並み～やや濃い状況です。幼穂の発育状況からみると、出穂は概ね平年並みと見込まれます。

農業技術普及課生育診断圃の生育状況

項目	はえぬき（移植 5/22）		つや姫（移植 5/20）		雪若丸（移植 5/21）	
	調査値	平年比（差）	調査値	平年比（差）	調査値	指標比（差）
草丈(cm)	66.6	99	73.6	109	65.4	102
茎数(本/m ²)	596	99	582	110	572	95
葉数(L)	11.9	+0.6	11.7	+0.2	12.4	+0.8
葉色(SPAD)	42.8	+1.1	40.4	-0.9	40.4	-0.6
予想出穂日	8/6	+1	8/9	±0	8/6	+4

出穂したら直ちに田んぼに水を！

～きめ細やかな水管理で、品質向上を図りましょう～

○出穂までは、**間断かん水**で根の活力を維持！

○出穂期～穂揃期の水管理

- ・出穂は概ね平年並みの予想です。
- ・出穂期～穂揃期はイネが生理的に活発な時期！
→特に多く水分を必要とするので、土壌水分を保ちましょう。

出穂が見え始めたら、直ちに「入水」！

※フェーン現象による高温や台風による強風が予想される場合は、**一時的に湛水**しましょう。

※高温が続く場合は水をためっぱなしにしないで、新しい水を入れ替えるか落水し、飽水管理を行い、イネを高温から守りましょう。

○登熟期の水管理

- ・穂揃後は湛水期間を短くした間断かん水や飽水管理を行いましょう（下表参照）。
- ・落水時期は登熟、粒張り、胴割粒・白未熟粒の発生などに大きく影響

落水時期は → 出穂後30日頃を厳守！

表 出穂後日数と水管理の目安

～20日	くぼみに一部水がある程度より乾かさない。
21～30日	足を入れてかかとの部分に一部水がにじみ出る程度。
31日以降	落水。黒乾亀裂（一部小ヒビの入る程度）

◎熱中症や農作業事故に注意

今後、暑い日が続く予報です。農作業は、休息をとりながら、水分や塩分の補給を十分に行いましょう。作業時は複数人数で行い、体調不良など、緊急時に連絡できるよう、携帯電話は必ず持参しましょう。

◎山形県農薬危害防止運動実施中（実施期間 6月1日～8月31日）

農薬使用基準（収穫全使用日数、使用回数など）を遵守し、また、周辺ほ場の農作物や住宅地等への飛散にも十分留意しましょう